

櫻守の会

2022年1月号

2022年1月1日(通巻272号)
発行: 櫻守の会代表 近藤 茂
〒665-0485 宝塚市栄3-4-10-505
会員数 113名(12月25日現在)
HP: <https://www.sakuramori.net/>

毎日が日曜日から週休1日へ

武原 健一

2016年8月会社退職即毎日が日曜日化となり、日曜日を埋めるため宝塚市主催のボランティア講座の受講と山歩きのクラブ(2クラブ)に入会、趣味のドライブを入れるととりあえず週休4日(週の稼働日は3日)体制を確保。市の受講終了後、櫻守の会の紹介を受け即入会しました。先輩会員の桜や植物に対する知識や作業力量には脱帽するばかりです。小生は、チェーンソーも使えず未だ素人のままで後輩に遅れ恥じるばかりですが山頂での作業(山登り)には自信があります。

その後シニア向けの講座受講とクラブ活動(マジック)ではほぼ休みなしの週休1日体制となり退職前より多忙になったというか空き時間がなくなりました。(ただし講座等の拘束は移動時間を含め半日であり、空き時間は妻との買物等のお手伝い「妻へのご機嫌取り」や畑作業に充てています。)

櫻守の活動は「桜の園」と「山手台」を中心にやっており活動日は月4日ですが他の活動日と重なることもあり3日程度です。(極力櫻守を優先していますが)もう少し日数を増やしたいと思います。他の行事との関連で現状では難しく、一番の悩ましいことは、誰よりも虫に好まれる体質らしく虫刺されることでもあります。結果、家には皮膚科よりの処方薬が売れるほどあります。また、新たに老人・児童向けの施設でのボランティア立ち上げを計画し現在進行中であり、マジックに加え風船アート(バルーン)を習っております。コロナ禍でなかなか受入施設が見つからず初公演(マジック、バルーン、脳トレ等)をクリスマスに絞って施設と交渉中ですが2022年に延期されそうです。この時間割り当てにはシニア向けの講座が終了するので他の活動には影響はないように工夫したいと思っています。

我がボランティアの考え方は、①自分のための活動であり、奉仕はその結果であると思っています。②ボランティアの原点は櫻守の会にあり。新ボランティアの設立にあたっては社協への加入、まだ助成金等の申請はしていませんが櫻守の会で得た知識が役立っております。③知的な労働より体を張った肉体労働者でありたい。退職して6年、“なんとかなるさと健康”のおかげでそれなりに充実した日々と櫻守の会作業終了後や山行きの帰りの飲み会は究極の楽しみであり、あと5年は今のまま続けていけたらと…。



マスクをしてマジックの練習

***** 目次 *****

- P1 序文: 毎日が日曜日から週休1日へ
- P2 2021年12月度活動実績表 活動報告
- P3~5 活動報告: 桜の園、青葉台、ゆずり葉の森、山手台、武庫山の森、環境体験学習支援
- P5~7 お知らせ・案内: 運営委員会報告、会員消息、会員紹介、武庫川エコハイク
- P7~9 櫻守ひろば: サクラの雑学いろはⅢ、プルトップ、児童からの感謝状
- P10 活動予定表

活 動 実 績 表

12 月活動実績表

月日	活動地・参加者 ()内は会員外	天候	作業内容	人数
11 月 25 日 (木)	青葉台	晴れ	(青葉台口～北逆瀬台口) 枯れ松伐採	8
			(光が丘ルート) 枯れ松伐採、倒木処理	6
			(陽光広場) 草刈	2
			(イチヤクソウの丘) 園路(階段と路肩)の整備	3
11 月 28 日 (日)	桜の園 (亦楽山荘) 16 名	晴れ	(桜の尾根) 植樹・実生桜周辺の整備 リョウブ、コナラの伐採	10
			(隔水亭) 土砂対策蛇籠の設置、(堰堤上部) 草刈り	6
11 月 29 日 (月)	ゆずり葉の森 12 名	晴	逆瀬台小 5 年生・環境体験学習 児童 54 名 先生 2 名 ①森の学習②逆瀬川地域について③登山と森の自然観察④椎茸収穫体験	12
12 月 3 日 (金)	桜の園 (亦楽山荘) 16 名	晴れ	(桜の尾根) 植樹・実生桜周辺の整備	10
			(赤松道) 赤松植樹地近傍にて枯れ松の伐採	6
12 月 5 日 (日)	武庫山の森 20 名	くもり	(中央ルート) ルートからの奥のササ刈り	7
			(中央分岐) 常緑樹の除伐	6
			(塩谷ルート) 枯コナラの処理、光が丘中学校との境界整理	7
12 月 9 日 (木)	ゆずり葉の森	晴れ	(コバノミツバツツジの丘) 枯れ松の伐採	5
			(コバノミツバツツジの丘) 回廊内の笹、低灌木等刈取り、枝打ち	6
			(腕白原っぱ、どんぐりの丘、カエルの谷) 枯れ松伐採、笹刈り、桜若木の間伐	6
12 月 15 日 (水)	桜の園 (亦楽山荘) 19 名	晴れ	(赤松展望所周辺) 枯れ松の伐採	6
			(城ヶ丘広場) 草刈り、落ち葉の片づけ、常緑灌木の除伐	8
			(城ヶ丘広場、桜坂入口) 腐朽ベンチの撤去、新ベンチ 6 脚の組立・据付	5
12 月 18 日 (日)	武庫山の森 21 名	晴れ	(塩谷ルート) 枯コナラの処理、常緑樹の除伐	6
			(武庫山ルート) 土留めによる園路の補修	8
			(中央分岐) 常緑樹の除伐	6
			(入口花壇) 花壇周辺の整理	1
延べ参加者数				140

活 動 報 告

桜の園 (亦楽山荘)

11/28 (日) 紅葉の見頃も終盤に近づく快晴の日曜日、園内は多くのハイカーで賑わっていました。

1 班は桜の尾根下部斜面でリョーブと直径 30cm ほどのコナラを伐採、後処理に時間を取られ桜周辺の整備はあまり進捗しませんでした。もう 1 班は隔水亭の土砂崩れ対策として、「笹部新太郎と亦楽山荘」の看板の後ろからベンチまで蛇籠を 4 つ設置。周辺の石を使用出来たため作業が捗り午前中に終了、午後は移動して堰堤上の河原の草刈りを行いました。



隔水亭 : 蛇籠積み

12/3 (金) 桜の尾根は引き続き桜周辺の整備。周囲の背の高い灌木類を剪定して尾根全体を広々と見渡せるようになってきました。枯れ松伐採班は、赤松植樹地手前のおおきな枯れ松の伐採後の処理に手間取り午前中を費やしてしまいましたが、午後からは順調に作業を進めることが出来、4 本の枯れ松を伐採出来ました。

その他、モミジの道から隔水亭へ向かう通行禁止の区間の入り口門扉の修理、固定が浅くグラついていたササラ沢の道標の移動、固定作業を行いました。



桜の尾根 上部ベンチからの眺め



桜の尾根 サクラ談義に花咲く



ササラ沢 道標固定の準備

12/15 (水) 園内の腐ったり壊れたりしたベンチの更新のための部材が届いたので、朝から運搬の力仕事！ 廃線敷き入口から親水広場へ、そこから城ヶ丘広場まで参加者一致協力して運び上げました。城ヶ丘広場では旧ベンチを分解・撤去、4脚の新ベンチに交換しました。廃材や脇に積まれていた腐った伐採木は広場奥に集積し直しました。また広場全体の草刈り、落ち葉の清掃、北側急斜面での灌木除伐を行いました。ベンチ設置班は午後から桜坂入口へ移動、そこで2脚の更新をしました。伐採班は、赤松展望所周辺の大枯れ松3本、すべてチルホールを駆使しての引き倒し、大きく張った枝の処理に時間がかかり本日はこの3本で時間切れになりました。(坂田 記)



城ヶ丘にベンチ材料を運搬



城ヶ丘 ベンチ据え付け



城ヶ丘の整備 常緑樹を間伐

青葉台

11/25 (木) 見頃を迎えた錦秋の下、遅れていた笹等雑草を青葉台口付近、陽光広場周辺で刈払機、鎌



青葉台口の雑草を刈払機で刈り取り



陽光広場・荘川桜裏の枯れ松を
ロープで牽引しながら伐採



光が丘ルートで倒れた枯れソヨゴを
多数処理した。

を使い刈り取った。また青葉台口～北逆瀬台口間の園路脇の枯れ松をチェーンソーを使い伐採、併せて光が丘ルートではソヨゴの大落下枝や枯れ倒木の処理を行った。一方イチャクソウの丘～西山堰堤に至る園路では、階段と路肩の補修を行った。(加賀野 記)

ゆずり葉の森

12/9 (木) 11月中旬頃の暖かさで気持ちよく作業が捗りました。コバノミツバツツジの丘で園路脇等の枯れ松やコナラをチェーンソーを使って伐採、併せて前月(11/5)に引き続き笹や雑草などを刈払機と鎌などで刈り取るとともに灌木の間伐、枝打ちを行い通行性、見晴らし改善範囲を拡大しました。また「わんぱく原っぱ」で枯れ松倒木の処理、どんぐりの丘で草刈、西高グラウンド下平では一杯育っていた実生の桜若木の間伐を行いました。(加賀野 記)



コバノミツバツツジ回廊
園路脇の枯れコナラを伐採



コバノミツバツツジ回廊
鎌で笹等の刈り取り



どんぐりの丘・
笹を手作業で刈り取り

武庫山の森

12/5 (日) 曇り空から時折雨がぱらつく空模様ながら寒さはなく、気持ちよく作業ができました。以前ルート沿いのササを刈った中央ルートの園路から離れた斜面のササを手で刈りました。多くの実生に光が届くようになり、どの木が育ってくれるか楽しみです。中央分岐周辺の斜面の常緑樹を除伐しました。森が明るくなりましたが、広い場所ですので今後も続けます。塩谷ルートビューポイント横の枯コナラを処理し、その奥の光が丘中学校との境界線周辺に枯れてツタが絡んだハリエンジュがあったので処理して境界線を綺麗にしました。午後からは大桜5号周辺の枯コナラを処理しました。武庫山ルートの桜が集まる尾根にベンチを設置しました。春のお花見が今から楽しみです。

12/18 (土) 晴れながら風が冷たく初雪が舞う中での作業でした。継続作業として、中央分岐付近の常緑樹の除伐、大桜5号周辺の枯コナラ処理と常緑樹の除伐をしましたが、まだ続きます。武庫山ルートの路肩が崩れている所を杉板で土留めをし、現地調達の木で階段を補充しました。今年はコロナウイルスの影響、4月は雨で2連続休みで10回の作業でしたが大きな怪我や事故もなく最後に山の神様へお礼を述べて作業を終えました。(横山 記)



中央分岐の常緑樹の除伐



山の神様へ拝礼

環境体験学習支援 (於：ゆずり葉の森)

逆瀬台小学校5年生 11/29 (月) 晴れ 参加者：児童54名 先生2名 会員12名

コロナ感染拡大のため例年の合宿スケジュールを短縮せざるを得なかった5年生児童たちに学校近くのゆずり葉の森で身近な秋の自然を楽しんでもらいました。白瀬川広場でのクイズを交えた森の学習(森と木のかかわり、動物と木の成長の違い)や担任の先生からの逆瀬川地域についてのお話の後、森の中を歩きながら白瀬川源流にある砂防堰堤や森の自然を観察しました。学校に帰ってから、2年前に植菌したホダ木よりシイタケの収穫も体験しました。5年生については今年限りの支援です

(瀧本 記)



木の成長のクイズに答える



行者山登山道の急坂を登る



2年前に植菌したシイタケを収穫

お知らせ・案内

運営委員会報告(11月度)

代表 近藤 茂

2021年11月27日(土) 9:45~12:00 ぷらごこむ1

1. 新型コロナウイルス対応・・・里山整備活動については、現在の方針で良いことを確認した。
年末年始の直会は、感染予防の観点から今年には行わないことにした。
2. 秋の環境体験学習について
 - ・小学3年生：中山桜台小学校(11月2日)、逆瀬台小学校(11月8日)に実施した。分科会を設置して準備した結果、充実した内容で円滑に運営でき、子供たち・学校の反応は良好だった。
 - ・小学5年生：逆瀬台小学校(11月29日)は今年限定でゆずり葉の森で実施する。
 - ・来年度2月に実施予定のシイタケ植菌学習の準備に入っている(対象2校)。
3. 会報の序文について
 - ・序文の執筆者：創刊号～2013年6月号は会長・代表、2013年7月号～2018年11月号は運営委員の持ち回り、2018年12月号からは会員で引き受けてもらえた人を書いていただいていたが、会員皆さんの執筆もほぼ一巡して終わりに近づいてきた。
 - ・今後序文をどのようにするのか、他団体の会報も参考にして検討することにした。
4. 桜の園入口階段の手すり・・・宝塚市公園河川課に腐食が進んでいることを伝え、点検を依頼した。
5. 活動内容を見直して会員の増加を目指す検討
 - ・今月は昨年春に実施した女性会員アンケート結果の再確認をした。また桜をはじめとする種々の植物苗の植樹と育成法について意見を出し合ったが、委員間でも様々な考えがあり、整理をして行く必要性を感じた。
 - ・最近の新規入会者は仕事をされている方が多数であり、これを前提とした会の運営をして行く必要がある。次回から現行の活動方針(総会議案書の新年度の活動計画)で良いか、何が不足しているか、等について審議し、会員の増加につながる方策を検討して行く。

環境体験学習参加のお願い

事務局

下記2校の環境体験学習(シイタケ植菌)を実施します。支援のため皆様のご協力をお願いします。

○逆瀬台小学校(児童数：1学級、37名) 実施日：2月1日(火) 予備日：2月7日(月)

集合：逆瀬台小学校 10時15分(12時半頃解散予定)

○美座小学校(児童数：2学級、72名) 実施日：2月8日(火) 予備日：2月22日(火)

集合：美座小学校 10時15分(12時半頃解散予定)

※ご協力いただける方はメール経由又は活動日等に担当者(上田威、大形、清水、瀧本)に連絡して下さい。
PCメール：瀧本 浩一 takimoto.kouichi@sepia.plala.or.jp

会員の異動はありませんでした。

武庫川エコハイク 第175回「中山連山縦走（山本から清荒神）」 エコグループ・武庫川

今回は宝塚の裏山、中山連山を縦走し清荒神清澄寺で初詣

★お願い：マスク着用で「三密状態」を防止する活動にご協力願います

コロナ感染症拡大予防対策で「中止」もあり得ますので最新の情報で確認ください

日時：2022年1月8日（土）雨天中止

集合：阪急宝塚線「山本駅」北口バス停付近 9時

ルート：山本駅前～最明寺滝～登山口岩場（急登）～中山最高峰（478m）～中山寺奥の院～清荒神清澄寺（初詣）～参道～阪急清荒神駅

◆約13km 健脚向き（高低差400m 厳しい岩場急登あり） 解散：15時頃 阪急「清荒神駅」

参加費：100円（保険代、資料代） 申込み：不要（当日集合場所にお越し下さい）

持ち物：弁当、飲み物（多めに）、雨具 服装：ハイキングできる服装、軽登山靴

＊お問合せ：携帯 090-7763-6763（上田）

主催：エコグループ・武庫川 後援：兵庫県（自然環境保全）

URL：<http://ecomukogawa.web.fc2.com/>（武庫川エコハイクで検索）

< 櫻守ひろば >

会 員 紹 介

武井 芳三さん

9月に入会しました武井芳三（たけい よしぞう）と申します。1962年生まれでこの1月で60才となります。2020年9月に神戸市より宝塚の武庫山に引越し、1年超が過ぎました。生まれ育ちは名古屋で大学から関東へ、仕事を始めてからは、名古屋、横浜、神戸と住居を転々とし、今回の武庫山が終の住処の予定です。

自然が好きで森の中はマイナスイオンのせいか気がよく、散歩程度ですが近くを散策しています。入会のきっかけにもなったのは散歩の途中でフェンスに囲われた森があったので扉を開けて入ってみて、そこでチラシを見つけ面白そうなので連絡、入会となりました。植物については余り知識がないのですが、皆さんよくご存知なので、これから勉強していきたいと思っています。

趣味ですが、スポーツは月2-3回のテニス、あとは映画鑑賞・カラオケなどの文化活動(?)も好きです。宝塚はホールなども多く文化活動も活発で、自然も近くにあり、いいところに引っ越してきたと気に入っております。世知辛い話で年金もらえるのが65才と先なのですが、60才の区切りとして好きなこととして今後の人生生きたいと思っていますので、先輩方よろしくお願い致します。



北村 誠司さん

10月に入会した北村です。昭和36年仁川生まれ、西宮市の上大市、豊中市などを経て西宮市の御前浜の近くに住んでおります。近くにあるのに入ったことがなかった白鹿の酒造博物館に立ち寄ってみたところ、笹部新太郎の展示に興味を持ち、妻がみつけた櫻守の会の入会チラシを拝見して体験参加をしてみよう気になりました。

子どもの頃は家の近くの田んぼや武庫川で遊び六甲の山並みを眺めて育ちましたが、中学で友人とその六甲山や近畿圏の山に登るようになり自然が好きになりました。今でも甲山や六甲山を月に何回か歩いていますが、そこで出会う樹木や生き物のことはあまり知らないままですし、草刈りなどの作業経験もなく、長年デスクワークの仕事中心の不健康な生活で、近頃は体を動かすのもだんだん億劫になってきました。恥ずかしながらこの年になるまでボランティア活動の経験もほとんどなく、皆さまのお役に立てる自信はありませんが、親切にいろいろ教えていただけるので作業することが楽しくなり、引き続き参加したいと思うようになりました。月2回程程度の参加になるかと思いますが、なるべく長く続けたいと思います。よろしくお願いいたします。



サクラの雑学いろは 第4回 サクラの名称(名前)と品種登録

さくら守太郎

1. サクラの名称の付け方には3種類あります。(と私は思っています。異説はあるでしょうが…)

A群：種名・品種名

野生種 11種類の名前：ヤマザクラ、カスミザクラ、エドヒガン など

栽培品種の名前：染井吉野、小彼岸、八重紅枝垂れ、普賢象、関山、一葉 など

B群：1本桜の固有名詞

荘川桜、醍醐桜、樽見の大桜、又兵衛桜、根尾谷の薄墨桜 など

上記の桜はすべて樹齢350年以上のエドヒガンの名木で、桜バスツアーで行きました。

C群：特定地域の桜

白山桜：吉野山のヤマザクラを特に白山桜と言います。

紀州権現平桜：笹部氏が「日本一の山桜」と称えた和歌山県白浜町の熊野権現神社の桜
名前を聞いて、どの群に属するもの区別することが大切です。

2. 栽培品種名はどのように決めるのでしょうか。実にいろいろなケースがあります。列举すると

① 昔に付けられた名前が現在も引き継がれているもの。品種登録のルールがない時代のものがあり、この中には同じ品種でありながら異なった名前のもや、同じ名前でも違った品種のものが多々あります。

② 明治以後に新品種として名づけられたもの。市場経済が進んできて、「いくら鑑賞に優れた桜であったとしても、1本だけでは新品種としては認められない。増殖されて市場に出回って初めて栽培品種として認められる。」との説がある一方で、1本だけでも新品種と認定することもあるようです。新品種の認定、命名にも種々のケースがあり、言ってみればキチッとしたルールは無いようです。

1) 学術誌に論文として発表すること。学者先生が本流と考えている方法です。

2) 論文等に発表する前に市場に流通して、定着した名前。 例：河津桜

3) 品種登録制度…制度が開始されたのは比較的最近で、現在2つの認定機関があります。

- ・農林水産省：新品種育成者の権利を保護する目的で作られた制度。サクラ属は1978年より出願が開始、現在まで79品種が出願され、49品種が登録されています。
 - ・(公財)日本花の会：2013年より認定制度を開始、現在まで31品種が登録されています。
- 4) その他・・・品種登録されていないが世の中で通用するようになったもの
- ・笹部氏が大阪より岡本に転居した際に持参した桜の種子が庭に落ち、それが発芽成長し5年後に開花したので笹部氏は「五歳桜」と仮名をつけていましたが、1978年に死去する前に「笹部桜」と名づけるよう、遺言があったと言われています。
 - ・笹部氏が「日本一の山桜」と称えた「紀州権現平桜」は戦時中に燃料として切られてしまいました。笹部氏が残していた種子を久野友博氏が発芽させて育て、西宮市植物生産研究センターでバイオ技術を使って増殖させ、西宮市はこれを「西宮権現平桜」と命名しました。

3. 荘川桜がなぜあちこちにあるのでしょうか？

- ・「荘川桜」とは、岐阜県の御母衣ダム湖畔にある推定樹齢500年余の大きな2本のエドヒガンに付けられた名前です。御母衣ダムを造る時に、笹部氏がダム湖横への移植工事の指導をしました。
- ・櫻守の会の活動地内で荘川桜と称している若木は、桜の園に2本、山手台に1本、青葉台に3本あります。これらの荘川桜は、御母衣ダム湖畔の「荘川桜」の種子から育てた実生苗を地元の方から贈ってもらったものです。母親は「荘川桜」ですが、父親の花粉は何か特定できていません。その結果、青葉台にある3本の荘川桜は、咲く時期も少しずつ異なり、しかも1本は枝垂れています。
- ・荘川桜と同様に「根尾谷の淡墨桜」の子孫が、清荒神の鉄斎美術館の前に植えられています。



青葉台の荘川桜

空き缶プルトップの回収

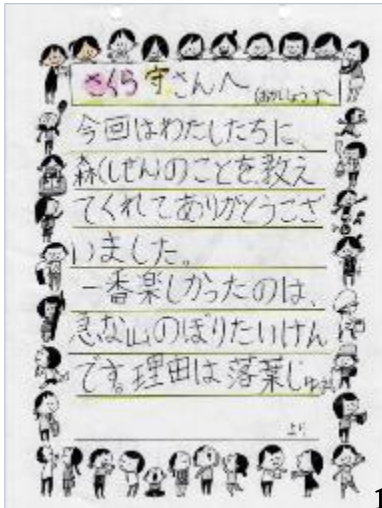
上田 威

現在、幾つかの団体が“プルトップを集めて車椅子を贈ろう”との活動を行っており、ドラム缶1本分のプルトップで車椅子1台が提供されています。私は、始めた時の切っ掛けや動機は覚えていませんが、約20年間回収を続けています。当初は集った量も少なかったのですが櫻守の会に入会后、OBを含む会員の方々、立ち寄る店とその常連さん、現役時代の友人等の協力を得て、回収量は増え、最近では2リットルのペットボトル3~4本分を近所の某新聞販売店に持込んでいます。因みにドラム缶1本にはペットボトル約100本分に相当するプルトップが詰まります。ペットボトル1本には約2,400個のプルトップが入り、これは缶ビールを毎日1缶飲むとして約6年半分の勘定となります。今後も有志の皆さんのご協力を期待しています。尚、現在ベルマークも回収もしており、環境体験学習に協力している小学校に備え付けの箱に入れています。こちらのご協力も宜しく！

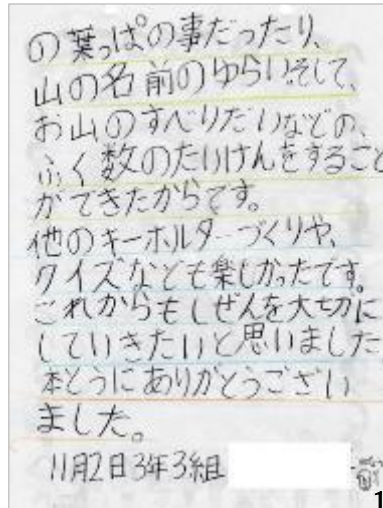


中山桜台小学校・逆瀬台小学校 3年生児童から「環境体験学習」についての心温まる感想文（お手紙）をいただきました。一部を紹介します。

中山桜台小学校 3年生児童



1-1



1-2



2

逆瀬台小学校 3年生児童



3



4



5

1-1 1-2 さくら守さんへ（おかししょう）へ
 今回はわたしたちに、森（しぜん）のことを教えてくれてありがとうございました。
 一番たのしかったのは、急な山のぼりたいけんです。理由は落葉じゅの葉っぱの事だったり、山の名前のゆらい。
 そしてお山のすべりだいなどの、ふく数のたいけんをすることができたからです。他のキーホルダーづくりや、
 クイズなども楽しかったです。これからもしぜんを大切にしていきたいと思いました。本とうにありがとうございました。

2 さくらもりのみなさんへ
 いろんなことを教えてくれてありがとう。一番こころにのこっていることは、のこぎりでキーホルダーを作ったことと、山登りをして山びこをしたことです。さくら台小学校にこんな場所があるなんてしりませんでした。しれてうれしかったです。

3 はじめて知った木
 ゆずり葉のもりのかんきょう体けんいきました。その中で、ぼくがはじめて知った木をしょうかいします。
 1つ目は、コナラですコナラはちゃいろで、木がとでもでこぼこです。
 2つ目はネズですネズの木は、とてもとげがあり、さわると、とてもちくちくする木です。この2つの木をぼくは、知りました。

4 森の植物たち

日本全国の動物の数は 90000 です。山に木がないとどしゃくずれがおこります。なぜなら、季の根は土をがっささえてるからどしゃくずれがおこりません。さるすべりという木はとてもすべすべとしています。そして、まつは緑色だけどかれたら茶色になります。スプーンでばけつの中の土をかきまぜたりにおいをかいでうんちが入っていると聞いてびっくりしました。

5 登山をした時に色々な木を覚えてもらった

櫻守さんと登山して色々な木を覚えてもらいました。コナラは木の色はこげ茶色で表面がゴツゴツしていて葉が丸く葉の色が赤と緑のような色でした。赤松は木の色は名前のとおり茶色と赤がまざったような色で、木の表面は、コナラのようにゴツゴツしていて、葉がまっすぐでツンツンしています。葉の色は緑です。このように色々な木を覚えてもらい、とてもべん強になりました。

活 動 予 定 表

月別行事予定表

1月		場 所 等	2月		場 所 等
1月7日	金	桜の園（亦楽山荘）	2月3日	木	桜の園（亦楽山荘）
1月11日	火	ゆずり葉の森	2月6日	日	武庫山の森
1月15日	土	武庫山の森	2月9日	水	桜の園（亦楽山荘）
1月18日	火	山手台	2月11日	金	ゆずり葉の森
1月22日	土	桜の園（亦楽山荘）	2月15日	火	山手台
1月26日	水	青葉台	2月19日	土	武庫山の森
1月28日	金	桜の園（亦楽山荘）	2月21日	月	青葉台
1月29日	土	会報印刷／運営委員会	2月23日	水	桜の園（亦楽山荘）
			2月26日	土	会報印刷／運営委員会

集合時間：桜の園（亦楽山荘）親水広場 9時50分、武庫山の森 9時50分、他の3活動地は 9時30分。

天 候：当日朝 6時55分 NHK TV 天気予報で、兵庫県南部の午前・午後いずれかでも降水確率 60%以上の時は中止します。

<編集後記>

中山桜台小学校と逆瀬台小学校の生徒たちから環境体験学習のお礼の手紙がたくさん届きました。折角の手紙ですが鉛筆書きではっきり読めるように掲載できません。内容を書き写してみましたのでかわいらしい文章を是非読んでください。

2021年はコロナに明けコロナに暮れた1年でした。2022年も警戒を続ける年になりますが、油断する事なく、しかし懼れることなく充実した1年にしたいものです。
(坂田 記)